

スローガンのように、学年の「Level Up」につながる宿泊行事になりました。

2年 下田移動教室 6月25日(水)～27日(金)

6月25日(水)、あいにくの雨の中、下田臨海学園に向けて東京を出発、途中、伊豆旅の駅「ぐらんぱるぽーと」で昼食を取り、最初のプログラム「土肥金山」を見学しました。実際に使われていた坑道を見学路として整備した「坑道めぐり」は、等身大の人形が採掘の場面を再現、様々な職種に分かれて作業が進められていたことがよく分かりました。「黄金館」では、かつての土肥の街を再現したジオラマなど、江戸時代の様子を知ることができました。

パンニング皿を使って温泉水から実際に砂金を採る「砂金採り体験」では、皿を回して砂金だけを残していくことが最初は上手くできなかったのですが、だんだんとコツをつかんで、ほんの少しですが砂金を採ることができ、面白かったです。



夜は、伊豆半島ジオガイド協会の方に来ていただき、ジオ学習を実施しました。はじめに、伊豆半島各地の砂のサンプルを使って「伊豆半島 砂の標本」を各自で製作、それをもとになぜ地域によって砂の特徴が違うかについて、考察したことを発表し合いました。その後、解説ビデオを視聴しながら、伊豆半島の成り立ちと砂の特徴との関係について学習しました。伊豆半島各地の砂を実際に見比べてみると、その特徴の違いは歴然で、学習内容の理解を深めることができました。



6月26日(木)移動教室2日目、朝から晴天でしたが、午前中予定していた「堂ヶ島洞くつめぐり遊覧船」は波が高いため欠航となってしまいました。そこで代替として計画していた「体感型動物園 iZoo」に行ってきました。ここは、爬虫類に特化した飼育繁殖施設で、飼育体験など、直接触れ合うことができる体感型動物園です。生徒たちは、ヘビやトカゲ、カメなど、始めは恐る恐るでしたが、普段出来ない体験を楽しみました。

宿舎に戻り、すこし早めの昼食をもどり、午後は外浦海岸での「シーカヤック体験」と「サンドアート制作」を行いました。

「シーカヤック体験」では、インストラクターの方から操船上の安全講習を受けた後、グループごとと交代で、操船体験をしました。昨年の移動教室で白樺湖へ行きレイクカヌーを体験、パドルの使い方にも慣れていていたためか、みんな戸惑うことなくカヤックを操っていました。インストラクターのサポートを受けながら、湾内の先の方まで行くことができ、そこから見る景色は爽快でした。



また、裏表のプログラムとして、班ごとに「サンドアート制作」に取り組みました。スコップ1本・園芸用シャベル2本・バケツ2個という、限られた用具をうまく使いながら、班それぞれに与えられたお題で制作するというもので、どの班も協力しながら時間を忘れて取り組んでいました。なかには、この短い時間内で作ったとは思えない、なかなか見ごたえある出来栄のものもありました。



夜の「フォトフレームづくり」は、貝殻やシーグラス、それにビーズを使って装飾する作品づくりでした。みんな思い思いにグルーガンを使って貼り付けていきました。用意していただいたシーグラスは柔らかな水色、貝殻も淡い色合いなので、それを使って作ったフォトフレームは、どれも夏に涼しさを感じさせてくれる、これからの季節に似合う作品に仕上がりました。

6月27日(金)、退園式の後、移動教室最終日は、「伊豆シャボテン動物公園」を見学しました。ここの特徴は動物たちとの距離が近く、カピバラやミーアキャット、プレーリードッグなどをすぐ手の届くところで見ることができるところです。孔雀も放し飼いのため、目の前で羽根を広げる姿にも遭遇しました。1時間ほどの見学時間でしたが、十分楽しむことができました。

